

平成16年度 女性のチャレンジ賞表彰受賞者一覧

	候補者名	所属	都道府県・政令市	年齢	活動内容
大賞	惣万 佳代子 (個人)	特定非営利活動法人「デイサービスこのゆびと～まれ」 理事長	富山県	52	<p>看護師としての20年の経験から、デイサービスの開業を決意し、平成5年民間デイケアハウス「このゆびと～まれ」を開設。高齢者だけでなく子どもや、障害者と一緒にケアできる在宅福祉サービスとして独自の「富山型デイサービス」を創設。</p> <p>平成11年、県内で初めてのNPO法人として「このゆびと～まれ」が認証され、同法人を手本に富山型デイサービスを行おうとするNPO法人が年々増加している。</p> <p>従前、小規模な事業所では知的障害者と障害児のデイサービスに対する国の支援費を受給できなかったが、平成15年、富山県は「富山型デイサービス推進特区」を申請し認定を受けた。平成16年には2床以上のショートステイでお年寄りや障害者が一緒に利用できる「富山型福祉サービス特区」が認められるよう特区を申請、この提案を受け、限られた地域でなく全国的に規制緩和がなされるまでとなり、全国的な支持や広がりを見せている。</p> <p>さらに「富山型」民間デイサービスの起業を支援するため、起業家育成講座の講師を務め、多くの「富山型」民間デイサービスの起業家を輩出している。</p>
局長賞	伊東 サダ子 (個人)	「まごころの会」会長	秋田県	65	<p>長年にわたり農協女性部の中心として、女性の農業経営参画を促し、青色申告の普及や若い女性部員対象の「みどりの会」を結成し、年間を通じた豊富な野菜生産の基礎作りに貢献する。</p> <p>この活動が評価され、平成6年に農協の農産物直売所が設置されると、管理運営を担う女性農業者組織「まごころの会」の会長となり、「まごころ加工グループ」を結成し、手づくりの加工品を品揃えに加え、ここ数年、全県トップの売り上げを上げている。</p>
局長賞	佐藤 良子 (個人)	立川市大山団地自治会会長	男女共同参画局	62	<p>1999年、大山団地自治会の会長に選出され、自治会組織の改革として、同自治会を26の地区に分けての区制をひく。さらに役員を世代別にする方法を導入し、とくに若い役員がイベント開催時に同世代の参加を積極的にはかるなどの幅広い世代が参加する自治会活動を展開している。</p> <p>現在、同自治会は100%との加入率を誇っている。さらに自治会の財政基盤の確立のため、都駐車場や公園の管理を受託し、430万円の収入を得るまでになり、自治会費等を加えた同自治会の予算規模1500万円を超え、人口が同規模の自治会と比較すると、豊富な財源を有する自治会となっている。</p>

局長賞	高橋 裕子 (個人)	奈良女子大学 大学院教授	奈良県	50	<p>意欲的に地域医療に取り組みながら、平成6年から奈良県内の病院に於いて全国でもめずらしい「禁煙外来・禁煙教室」を開設し禁煙支援を行い、平成9年からは通院では不可能な息の長いサポートを目指し、インターネット禁煙支援システム「禁煙マラソン」を主宰し、全国規模での禁煙支援に取り組むという「横」へのチャレンジを実践している。</p> <p>また、禁煙の推進には「未成年への喫煙防止教育」が重要であると認識し、教育現場での支援や事業に尽力、大学においても学生を非喫煙者として社会におくるための活動(「大学禁煙化プロジェクト」)に取り組んでいる。</p>
局長賞	中島 民子 (個人)	つくば市農業・ 農村男女共同 参画社会推進 委員会会長 「わの会」会員	茨城県	62	<p>県主催の農村女性大学を修了後、平成2年に農産加工所を建設し農産加工品の製造販売を行い、自立した女性及び起業家としてチャレンジを行っている。</p> <p>平成10年には農業経営を自ら主体となって行っている女性たちのネットワーク「ドリームワークウーマンズ」の設立に寄与し、加工部門の会長として女性の経済的自立の促進や地域活性化に貢献。</p> <p>また、つくば市で2番目に家族経営協定を締結するなど、家庭内の近代化を図るとともに、地域全体への普及にも力を入れ、農村女性の地位向上に努めている。</p> <p>さらに、つくば市の女性第1号(県内初の公選による)女性農業委員や、つくば市の「虹のプラン」(農村女性の行動プラン)の作成や「つくば市男女共同参画社会基本条例」の素案作りにも係わる。</p>
局長賞	日野 佳恵子 (個人)	株式会社 ハー・ストー リィ 代表取締役	広島市	42	<p>広告代理店を退職し、主婦として家庭に入った後、平成2年ハー・ストーリィを設立し、仕事をしたい主婦層を中心に会員を集め、企業から依頼のあった商品調査を会員に対してインターネット上で行うという、新しいビジネスモデルで事業を展開。現在会員は10万人を超え、平成15年6月決算では約5億円の売上を計上している。</p> <p>また、フォーブス誌で「日本の女性社長100人」に登場、日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2001ネット部門第6位、同2003リーダー部門第9位を受賞するなど全国的にも女性起業家のリーダー的存在となっている。</p>
局長賞	森だくさんの会 女性部会 (団体)	-	長野県		<p>平成13年に発足、手入れのできていない里山を森林所有者の承諾を得て整備をし、出た材は薪にして養護施設等へ無償提供するなど環境保全に考慮した森林整備の活動をしている。</p> <p>会の発足当初、女性会員は5名くらいだったが、地域への参加・PRにより女性会員が増え、枝打ちや測量・間伐などの危険な作業も男性グループとともにしている。</p>

平成16年度 女性のチャレンジ支援賞表彰受賞者

	候補者団体名	代表者氏名	都道府県・ 政令市	活動内容
大賞	IWAD環境福祉 専門学校	平田 富美子	広島県	<p>平成5年、日本初の女性を対象にした左官・電気工事士・壁装技能士養成講座が「WAD婦人能力開発研究所」に開講される。</p> <p>平成7年には当該研究所を母体として、建築工芸科・インテリアサービス科・電気科・造園科の4科を設置するIWAD女子技術学校が設立され、7年間に335人の卒業生を出し、希望者の9割以上が就職しているという実績を上げている。</p> <p>平成15年にはIWAD女子技術学校を再編し、自立し社会貢献ができる人材の育成を目的とした男女共学のIWAD環境福祉専門学校が設立される。</p> <p>平成16年3月には、1年課程の第1期卒業生として、10代から60代までの52人を送り出し、希望者48人中44人が就職しており、技術と専門知識を習得し、一人ひとりが自立を目指し社会に貢献できる人材の育成に努めている。</p>
局長賞	放送と女性ネットワークin関西	松尾 邦子	大阪府	<p>平成3年、関西の放送業界で働く女性と視聴者によって設立され、女性の視点を活かして、メディアを読み解く講座や、放送業界の番組制作の仕組みについての講座を開催するなど、放送文化、ジャーナリズムの質的向上を目指している。</p> <p>平成10年には「放送と女性ネットワーク賞(WNB賞)」を創設、今なお男性中心の制作現場で奮闘する女性制作者の優れた作品を視聴者モニターの推薦で表彰し、さらなるチャレンジを支援している。</p>